

心ひかれる牛久沼

財団法人日本植物調節剤研究協会研究所のある茨城県稲敷郡牛久町のあたりは、何となく心をひかれる思い出がある。

戦前には、よく水戸に出張する用事があったが、帰りに牛久の駅で途中下車をして、牛久沼のほとりを歩き、池畔に腰をおろしては夕暮れの景色を飽かずに眺めたものである。その頃は、列車と列車の発車間隔が1時間半もあったので、帰りを一汽車おくらせれば、ずい分ゆっくりと風情を楽しむ時間があった。

国道6号線も、その当時は通る車も少なく、今日のような「うなぎめし」を売り物にするドライブインなどはなかった。むしろ「陸前浜街道」という昔の名前が似つかわしいたずまいであった。

牛久沼のほとりに住んだ画家小川芋銭も、この風景をこよなく愛した。奥さんが農業に従事し、芋銭は主として画業を事としたらしいが、好んで牛久沼の風景や農村の風物を描いた芋銭の画は、当時の面影を今によく伝えている。芋銭の画には、またよく河童が描かれているが、当時の牛久沼あたりは物淋しくて、河童が出てきても少しも不思議はないくらい静寂な水郷であった。

あれから40年……今や国道6号線は車の列が絶えることがなく、また農村も農業もすっかり変わった。

いまでは、牛久沼にも、河童はどうてい住みつくことはできないであろう。

〔財団法人日本植物調節剤研究協会理事 立川宗保〕

目 次

(第11巻第3号)

水稻の冷害と除草技術……………2

＜東北農業試験場 野田健児＞

1. ま え が き……………2

2. 昭和51年の水稻冷害の概況……………3

3. 現行稲作と過去の冷害気象……………4

4. 水稻作におけるフェノキシ除
草剤の使用技術……………6

5. 水稻へのフェノキシ剤の低温
限界……………7

6. 低温下での葉害を左右する条
件……………8

7. 土壌処理剤と低温条件……………10

8. む す び……………10

光化学スモッグと野菜に対する影響……………11

＜千葉県農業試験場 松丸恒夫＞

1. は じ め に……………11

2. 光化学スモッグ……………11

3. 光化学スモッグによる野菜の
被害……………12

4. 被害発現に影響を与える要因……………16

5. 被害回避対策……………17

6. お わ り に……………18

外国文献抄録……………18

＜財団法人日本植物調節剤研究協会＞

材料および方法……………18

結果の概要……………19

植調協会だより……………21